

平成 22 年度事業計画書

(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

1. 事業の概要

情報科学、情報工学分野の研究において顕著な功績のあった者の表彰及び情報科学、情報工学に関する履修又は研究を行う外国人留学生及び日本人留学生に対する奨学金の支給などの活動を通じ、わが国の科学技術の発展に貢献することを目的とする。

- 研究褒賞事業
- 留学生奨学事業

2. 研究褒賞事業

(1) 褒賞内容と金額

褒賞金総額 2,410 万円程度

- ・船井学術賞 300 万円 x 1 件、150 万円 x 7 件の合計 8 件程度とし総額 1,350 万円程度とする。(原則 1 件を「船井哲良特別賞」とし 300 万円を授与する) 日本機械学会推薦分、映像情報メディア学会推薦分各 1 件を含む。
- ・船井研究奨励賞 1 件 50 万円とし、総額 700 万円(14 件)程度とする。日本機械学会推薦分、映像情報メディア学会推薦分各 1 件を含む。
- ・学会関係の賞 総額 360 万円程度
 - FIT (情報科学技術フォーラム) 総額 160 万円程度
 - ・FIT 船井業績賞 100 万円 (1 件)
 - ・FIT 船井ベストペーパー賞 20 万円 (3 件)
 - 情報処理学会 総額 200 万円程度
 - ・IPJSJ 論文船井若手奨励賞 20 万円 (10 件)

(2) 褒賞対象

船井学術賞は国内の大学又は公的研究機関に属している 39 歳以下の研究者とし、船井研究奨励賞は 29 歳以下の者とする。(年齢は 10 月 1 日現在)学会関係の賞は各学会と協議の上決定する。

(3) 推薦並びに選定方法

船井学術賞及び船井研究奨励賞は、各大学の学部長等または当財団の理事もしくは評議員、さらに関係学会に推薦を依頼し、選考委員会で書類選考の上、理事長が決定するものとする。

学会関係の賞については各学会と協議の上決定する。

(4) 募集期間

船井学術賞及び船井研究奨励賞は 10 月 1 日から翌年 1 月 31 日まで。学会関係の賞は学会と協議して決定する。

(5) 選考

船井学術賞及び船井研究奨励賞は選考委員会で選考(2 月下旬頃)。学会関係の賞の選考時期は各学会と協議して決定する。

(6) 船井学術賞及び船井研究奨励賞の決定及び通知(3 月上旬頃)

(7) 船井学術賞及び船井研究奨励賞の褒賞式の開催(4 月下旬頃)

(8) その他付帯する必要な事項

3. 留学生奨学事業

A. 外国人留学生奨学事業

(1) 奨学金受給資格

情報科学、情報工学分野の履修又は研究を日本の大学又は大学院で行う外国人留学生とし、中国または東南アジアの留学生を優先する。

(2) 奨学金の金額

大学生・大学院生とも月額 10 万円(年額 120 万円)で合計で 10 件、総額 1,200 万円とし、月払いとする。

(3) 推薦並びに選定方法

本財団が指定した大学の学部長等に推薦を依頼し、選考委員会での書類選考及び必要により面接選考の上、理事長が決定するものとする。

(4) 募集活動

平成 22 年 3 月中旬から 4 月 30 日まで

(5) 選考

5 月初旬に選考し、理事長が平成 22 年度の奨学生を決定する。

(6) 奨学金の支給

支給期間は原則として一年間とする。

(7) 奨学生交流会の開催等

奨学金の支給日の機会を利用するなどして見学会等の交流会を開催する。
また過去の奨学生との交流会も開催する。

(8) その他付帯する必要な事項

B. 日本人留学生奨学事業

平成 22 年度から支援を開始する日本人留学生 7 名が選考され、本年度より奨学金の支給を開始する。これまでに支援している学生と合わせて、平成 22 年度日本人留学生奨学事業総合計は 3,264 万円程度とする。

(1) 平成 22 年度から新規に支援する日本人留学生氏名、留学先

Ph. D. 取得コース

●近藤 誠 (Stanford University 修士課程に在籍中)

留学先: Stanford University, School of Engineering, Department of Management Science and Engineering

*Ph. D. コースへの編入を目指すことを条件とする。

支援期間: 2010 年 4 月～2013 年 3 月 (平成 22 年度支援期間 12 ヶ月)

●吉本英樹 (東京大学大学院工学系研究科)

留学先: Massachusetts Institute of Technology, Media Laboratory; Royal College of Art, Innovation Design Engineering; Carnegie Mellon University, Architecture, Computational Design Laboratory; Stanford University, Computer Science; Simon Fraser University, School of Interactive Art and Technology に出願している。

支援期間: 2010 年 9 月～2013 年 8 月 (平成 22 年度支援期間 7 ヶ月)

●丸井淳己（東京大学工学部システム創成学科）

留学先：Stanford University, Computer Science; Massachusetts Institute of Technology, School of Engineering; University of California, Berkeley, College of Engineering; Carnegie Mellon University, School of Computer Science

*上記いずれかの大学の Ph. D. コースに入学することを条件とする。

支援期間：2010年9月～2013年8月（平成22年度支援期間7ヶ月）

1年留学コース

●高野博幸（東北大学大学院情報科学研究科）

留学先：Carnegie Mellon University, Robotics Institute

支援期間：2010年5月～2011年4月（平成22年度支援期間11ヶ月）

●山本 覚（東京大学大学院工学系研究科）

留学先：Stanford University, The Center for the Study of Language and Information

支援期間：2010年9月～2011年8月（平成22年度支援期間7ヶ月）

●森口博貴（東京大学情報理工学系研究科）

留学先：University of Central Florida, Engineering and Computer Science

支援期間：2010年7月～2011年6月（平成22年度支援期間9ヶ月）

●梅谷信行（東京大学大学院情報理工学系研究科）

留学先：Columbia University, Computer Science

支援期間：2010年4月～2011年2月（平成22年度支援期間11ヶ月）

(2) 平成22年度の日本人留学生予算

①平成22年度 Ph. D. 取得コース予算(3名)

授業料	810万円	(US\$ 30,000/年 x 3=90,000)
生活費	468万円	(US\$ 2,000 x 26ヶ月(12、7、7ヶ月)=52,000)
支度金	100万円	(50万円 x 2=100万円)(近藤氏は無し)
航空運賃	40万円	(20万円 x 2=40万円)(近藤氏は無し)
合計	1,418万円	(レト US\$ 1.00=¥90)

②平成22年度1年留学コース予算(4名)

生活費	684万円	(US\$ 2,000 x 38ヶ月(11、7、9、11ヶ月)=76,000)
支度金	200万円	(50万円 x 4人=200万円)
航空運賃	80万円	(20万円 x 4人=80万円)
合計	964万円	(レト US\$ 1.00=¥90)

③平成21年度 Ph. D. 取得コース予算(岩井氏：H22年度支援期間12ヶ月間)

授業料	270万円	(US\$ 30,000/年 x 1=30,000)
生活費	216万円	(US\$ 2,000 x 12ヶ月=24,000)
合計	486万円	(レト US\$ 1.00=¥90)

④平成 21 年度 1 年留学コース予算（山邊氏：H22 年度支援期間 6 ヶ月間）

生活費	108 万円	(US \$ 2,000 x 6 ヶ月 = 12,000)
航空運賃	20 万円	(20 万円 x 1 人 = 20 万円)
合計	128 万円	(レト US \$ 1.00 = ¥90)

⑤平成 21 年度 1 年留学コース予算（境氏：H22 年度支援期間は 11 ヶ月間）

（平成 22 年 3 月に留学予定であったが平成 22 年 5 月に変更となった）

生活費	198 万円	(US \$ 2,000 x 11 ヶ月 = 22,000)
支度金	50 万円	(50 万円 x 1 人 = 50 万円)
航空運賃	20 万円	(20 万円 x 1 人 = 20 万円)
合計	268 万円	(レト US \$ 1.00 = ¥90)

(3) 平成 23 年度日本人留学生の募集について

① 奨学金受給資格

将来わが国における情報科学、情報工学分野でのリーダーになることを目指す者で、

㊦ 海外の研究大学の大学院に Ph. D. 取得を目的として留学する者

㊧ 日本の大学の大学院後期課程に籍を置き、1 年程度の留学を目的とする者

② 規模（奨学金の額、期間等）

㊦ に対しては、募集人員：3 名程度、期間：最長 3 年間、授業料：全額（通常 3 万米ドル/年程度）、生活費：2000 米ドル/月、支度金：50 万円、渡航費：往復航空運賃

㊧ に対しては、募集人員：4 名程度、期間：原則 1 年間、生活費：2000 米ドル / 月、支度金：50 万円、渡航費：往復航空運賃

③ 募集活動

平成 22 年 5 月中旬から平成 22 年 10 月 31 日まで。募集要項を大学に送付しホームページで公表する。

④ 推薦状

㊦ に対応して、本人の能力、人柄を知る者からの推薦状（複数可）、

㊧ に対応して、指導教員からの推薦状、を必要とする。

⑤ 選考

日本人留学生選考委員会で書類選考及び面接選考し理事長が決定する。

⑥ 奨学金の支給時期

平成 23 年度の留学開始時より

⑦ その他付帯する必要な事項

4. その他付帯する必要な事項